



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日
東

上場会社名 株式会社クラレ 上場取引所
 コード番号 3405 URL <https://www.kuraray.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川原 仁
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 (氏名) 滝沢 慎一 (TEL) 03-6701-1070
 I R・広報部長
 四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	574,374	3.8	61,702	△12.9	57,753	△17.6	36,487	△22.7
2022年12月期第3四半期	553,150	—	70,846	—	70,078	—	47,174	—

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 102,575百万円(△25.7%) 2022年12月期第3四半期 137,969百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	109.00	108.92
2022年12月期第3四半期	139.64	139.53

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年12月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。このため、当該会計基準等を適用する前の2021年12月期第3四半期連結累計期間に係る各数値に対する対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	1,271,568	754,599	57.6
2022年12月期	1,221,533	668,534	52.9

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 732,219百万円 2022年12月期 646,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	21.00	—	23.00	44.00
2023年12月期	—	25.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	770,000	1.8	78,000	△10.5	73,000	△13.2	45,000	△17.1	134.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年12月期3Q	354,863,603株	2022年12月期	354,863,603株
-------------	--------------	-----------	--------------

② 期末自己株式数

2023年12月期3Q	20,106,297株	2022年12月期	20,171,061株
-------------	-------------	-----------	-------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年12月期3Q	334,736,132株	2022年12月期3Q	337,836,766株
-------------	--------------	-------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 5 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年1月1日~2023年9月30日)における世界経済は、サプライチェーンの混乱収束や半導体不足による供給制限の緩和などにより回復が進んだものの、そのペースは鈍く力強さを欠きました。欧州では金融引き締め継続による経済活動の停滞、中国では不動産市場低迷などによる成長の鈍化、また出口の見えないロシア・ウクライナ情勢をはじめとする地政学的な緊張などにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

かかる環境下、当社グループの業績においては、売上高は前年同期比21,224百万円(3.8%)増の574,374百万円、営業利益は9,143百万円(12.9%)減の61,702百万円、経常利益は12,324百万円(17.6%)減の57,753百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,687百万円(22.7%)減の36,487百万円となりました。

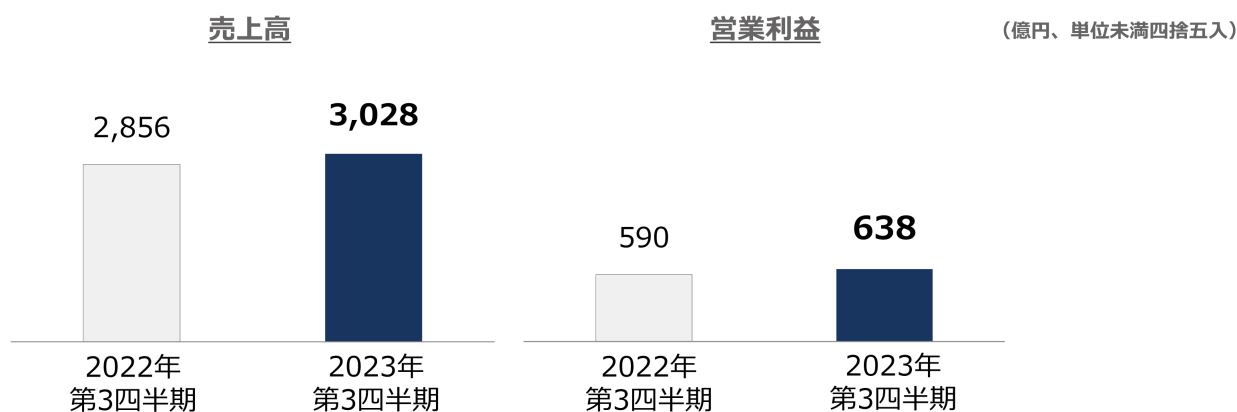
2018年5月に米国子会社で発生した火災事故に関して提起された民事訴訟について、訴え却下の申立てが認められる見込みの1名を除き、係争中であったすべての原告との間で2023年4月に和解が成立しました。これに伴い、当第3四半期連結累計期間において、本件訴訟などに関する訴訟関連損失として7,675百万円を特別損失に計上しています。なお、この1名については、2023年7月に訴え却下の申立てが認められ、本件訴訟は解決しました。

(単位:百万円)

	2022年度 第3四半期 連結累計期間		2023年度 第3四半期 連結累計期間		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニリアセテート	285,641	58,987	302,782	63,773	17,140	4,785
イソプレン	48,717	4,145	46,833	△4,066	△1,883	△8,211
機能材料	123,720	6,493	139,645	8,125	15,924	1,632
繊維	48,630	6,580	44,946	1,741	△3,684	△4,838
トレーディング	43,778	3,926	44,760	3,740	982	△186
その他	37,633	1,938	33,989	581	△3,643	△1,357
消去又は全社	△34,972	△11,226	△38,583	△12,194	△3,611	△968
合計	553,150	70,846	574,374	61,702	21,224	△9,143

[ビニリアセテート]

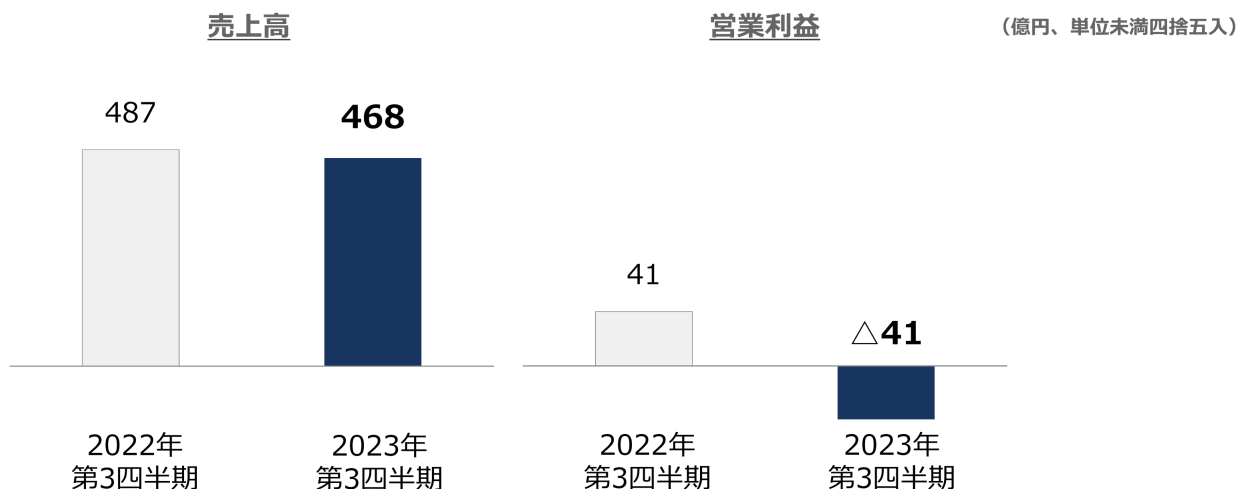
当セグメントの売上高は302,782百万円(前年同期比6.0%増)、営業利益は63,773百万円(同8.1%増)となりました。



- ① ポバール樹脂は、高付加価値品へのシフトを進めたものの、世界的な需要減退の影響を受けました。光学用ポバールフィルムは、液晶パネルの在庫調整が一巡し、出荷は順調に回復しました。高機能中間膜は、PVBフィルムの建築用途で需要の減退が見られたものの、自動車向けは堅調に推移しました。水溶性ポバールフィルムは、インフレによる買い控えなどの影響により、主に欧州で個包装洗剤向けの出荷が減少しました。
- ② EVOH樹脂(エパール)は、自動車向けは堅調に推移したものの、食品包装用途は軟調に推移し、販売数量が減少しました。

[イソプレン]

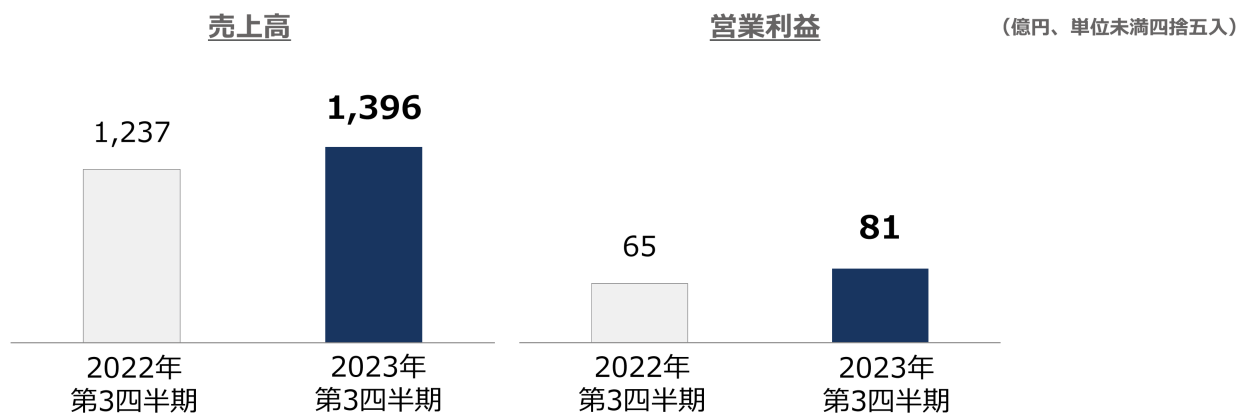
当セグメントの売上高は46,833百万円（前年同期比3.9%減）、営業損失は4,066百万円（前年同期は営業利益4,145百万円）となりました。なお、タイの新プラントは2月より順次稼働を開始しました。



- ① イソプレンケミカル、エラストマーは、昨年後半から続く需要減退に加え、競争激化の影響を受けました。
- ② 耐熱性ポリアミド樹脂（ジェネスタ）は、自動車向けは回復基調にあるものの、電気・電子用途はデバイスの在庫調整の影響を受け、販売量が減少しました。

[機能材料]

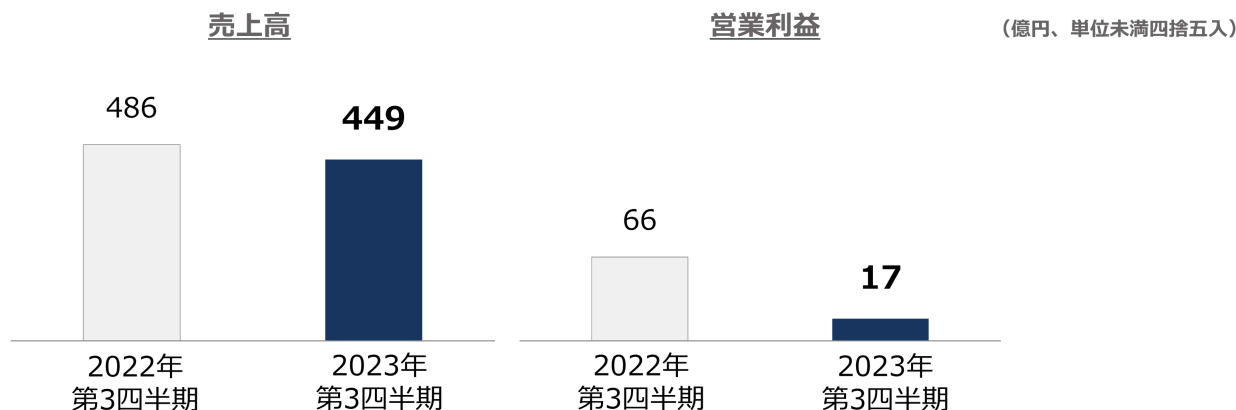
当セグメントの売上高は139,645百万円（前年同期比12.9%増）、営業利益は8,125百万円（同25.1%増）となりました。



- ① メタアクリルは、電気・電子用途はデバイスの在庫調整などによる販売量の減少に加え、原燃料価格上昇の影響を受けました。
- ② メディカルは、審美治療用歯科材料の販売が欧米を中心に順調に推移しました。
- ③ 環境ソリューションは、北米の飲料水用途や工業用途で需要が増え、活性炭の販売が堅調に推移しました。

[繊維]

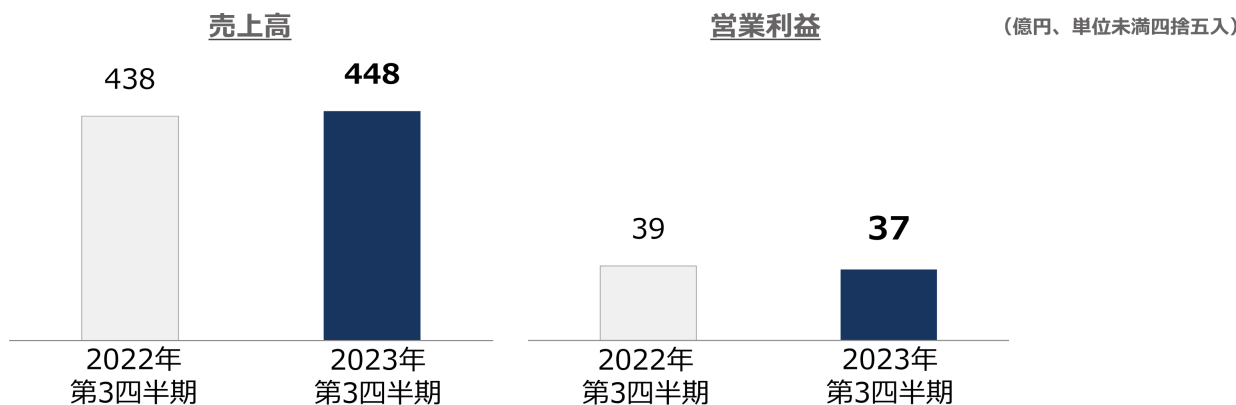
当セグメントの売上高は44,946百万円（前年同期比7.6%減）、営業利益は1,741百万円（同73.5%減）となりました。



- ① 人工皮革〈クラリーノ〉は、スポーツ用途では回復の兆しが見られましたが、ラグジュアリー用途などで需要減退の影響を受け、出荷が減少しました。
- ② 繊維資材は、ビニロンは欧州向けが低調でしたが、〈ベクトラン〉が堅調に推移しました。
- ③ 生活資材は、〈クラフレックス〉で外食産業の需要が低調でした。

[トレーディング]

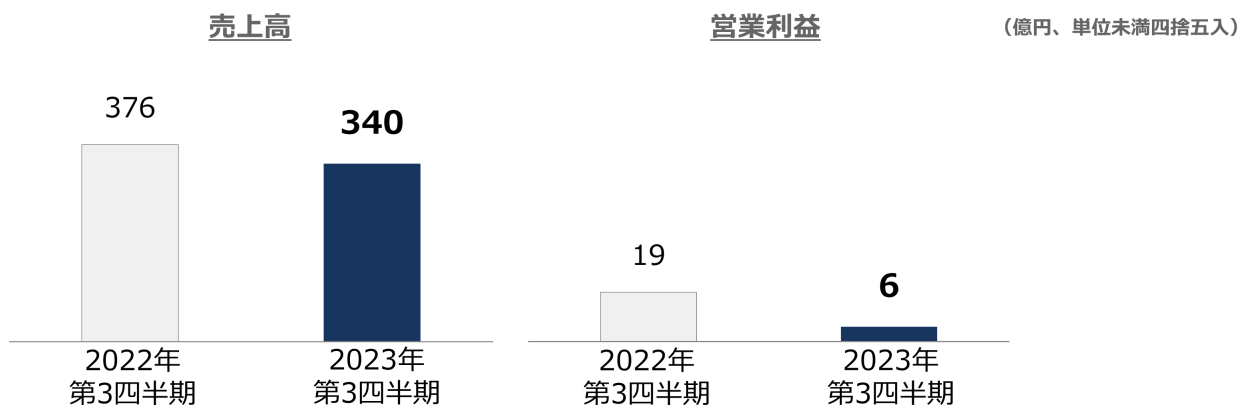
当セグメントの売上高は44,760百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は3,740百万円（同4.7%減）となりました。



- ① 繊維関連事業は、資材関連は苦戦しましたが、スポーツ衣料用途が順調に推移しました。
- ② 樹脂・化成品関連事業は、第2四半期までは低調だったアジア市場での需要が回復基調となりました。

[その他]

その他事業の売上高は33,989百万円（前年同期比9.7%減）、営業利益は581百万円（同70.0%減）となりました。



(2) 財政状態に関する説明

総資産は、現金及び預金の減少10,589百万円等の一方、有形固定資産の増加26,404百万円及び棚卸資産の増加23,009百万円等により、前連結会計年度末比50,035百万円増の1,271,568百万円となりました。負債は、有利子負債の減少43,031百万円等により、前連結会計年度末比36,029百万円減の516,969百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末比86,064百万円増の754,599百万円となりました。自己資本は732,219百万円となり、自己資本比率は57.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績及び足元の事業環境を踏まえ、2023年8月9日に公表した2023年12月期通期(2023年1月1日～2023年12月31日)の業績予想を次のとおり修正いたします。

2023年12月期 通期連結業績予想数値の修正

(2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 810,000	百万円 84,000	百万円 79,000	百万円 47,000	円 銭 140.43
今回修正予想 (B)	770,000	78,000	73,000	45,000	134.43
増減額 (B - A)	△40,000	△6,000	△6,000	△2,000	
増減率 (%)	△4.9	△7.1	△7.6	△4.3	
(参考) 前年実績 (2022年12月期)	756,376	87,139	84,060	54,307	161.13

注：上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	123,724	113,134
受取手形、売掛金及び契約資産	157,016	160,024
有価証券	4,852	3,553
商品及び製品	145,851	164,437
仕掛品	19,078	19,683
原材料及び貯蔵品	60,104	63,923
その他	23,815	22,864
貸倒引当金	△510	△623
流動資産合計	533,933	546,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	94,745	112,353
機械装置及び運搬具（純額）	219,200	281,362
土地	23,264	22,833
建設仮勘定	137,424	78,299
その他（純額）	37,926	44,118
有形固定資産合計	512,562	538,966
無形固定資産		
のれん	56,058	59,439
顧客関係資産	30,432	31,607
その他	34,993	38,121
無形固定資産合計	121,484	129,167
投資その他の資産		
投資有価証券	23,194	25,568
長期貸付金	97	138
退職給付に係る資産	2,104	2,319
繰延税金資産	16,718	16,902
その他	11,458	11,600
貸倒引当金	△20	△94
投資その他の資産合計	53,553	56,435
固定資産合計	687,600	724,570
資産合計	1,221,533	1,271,568

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,717	47,815
短期借入金	34,480	36,525
コマーシャル・ペーパー	10,000	-
1年内償還予定の社債	10,000	-
1年内返済予定の長期借入金	30,434	24,658
未払費用	21,075	18,986
未払法人税等	11,370	9,809
賞与引当金	9,132	12,535
その他	42,119	47,986
流動負債合計	221,330	198,316
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	179,491	160,190
繰延税金負債	17,279	17,934
退職給付に係る負債	25,626	28,484
資産除去債務	5,303	5,628
その他	43,968	46,414
固定負債合計	331,668	318,652
負債合計	552,998	516,969
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,152	87,146
利益剰余金	399,910	420,330
自己株式	△25,735	△25,653
株主資本合計	550,282	570,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,769	7,761
繰延ヘッジ損益	611	277
為替換算調整勘定	90,555	153,557
退職給付に係る調整累計額	△468	△156
その他の包括利益累計額合計	96,467	161,440
新株予約権	341	341
非支配株主持分	21,443	22,038
純資産合計	668,534	754,599
負債純資産合計	1,221,533	1,271,568

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	553,150	574,374
売上原価	369,455	392,686
売上総利益	183,694	181,688
販売費及び一般管理費		
販売費	34,436	30,742
一般管理費	78,412	89,243
販売費及び一般管理費合計	112,848	119,986
営業利益	70,846	61,702
営業外収益		
受取利息	201	1,231
受取配当金	388	434
持分法による投資利益	210	122
その他	2,191	909
営業外収益合計	2,992	2,699
営業外費用		
支払利息	1,063	2,028
為替差損	-	1,498
その他	2,696	3,120
営業外費用合計	3,760	6,648
経常利益	70,078	57,753
特別利益		
受取保険金	1,178	2,421
投資有価証券売却益	2,510	800
関係会社株式売却益	-	715
特別利益合計	3,689	3,937
特別損失		
訴訟関連損失	1,714	7,675
固定資産廃棄損	275	718
操業休止関連費用	5,429	-
特別損失合計	7,419	8,393
税金等調整前四半期純利益	66,347	53,297
法人税、住民税及び事業税	21,330	18,343
法人税等調整額	△3,195	△1,865
法人税等合計	18,135	16,478
四半期純利益	48,212	36,819
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,037	332
親会社株主に帰属する四半期純利益	47,174	36,487

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	48,212	36,819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,946	1,993
繰延ヘッジ損益	1,510	△254
為替換算調整勘定	89,465	63,704
退職給付に係る調整額	728	312
その他の包括利益合計	89,757	65,756
四半期包括利益	137,969	102,575
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,661	101,459
非支配株主に係る四半期包括利益	2,308	1,116

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

米国子会社における火災事故に関する訴訟の解決

2018年5月に米国子会社で発生した火災事故に関して提起された民事訴訟について、訴え却下の申立てが認められる見込みの1名を除き、係争中であったすべての原告との間で2023年4月に和解が成立しました。これに伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、本件訴訟を含む訴訟関連損失として7,675百万円を特別損失に計上しています。なお、この1名については、2023年7月に訴え却下の申立てが認められ、本件訴訟は解決しました。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニルア セテート	イソ プレン	機能材料	繊維	トレー ディング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	274,196	38,725	121,016	45,943	42,537	522,420	30,730	553,150	—	553,150
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11,445	9,991	2,703	2,686	1,240	28,068	6,903	34,972	△34,972	—
計	285,641	48,717	123,720	48,630	43,778	550,488	37,633	588,122	△34,972	553,150
セグメント利益	58,987	4,145	6,493	6,580	3,926	80,133	1,938	82,072	△11,226	70,846

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△11,226百万円には、内部取引消去△1,338百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△9,887百万円が含まれています。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニルア セテート	イソ プレン	機能材料	繊維	トレー ディング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	289,374	37,665	136,694	42,133	43,693	549,562	24,812	574,374	—	574,374
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	13,407	9,168	2,950	2,812	1,067	29,405	9,177	38,583	△38,583	—
計	302,782	46,833	139,645	44,946	44,760	578,968	33,989	612,958	△38,583	574,374
セグメント利益 又は損失(△)	63,773	△4,066	8,125	1,741	3,740	73,315	581	73,896	△12,194	61,702

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額△12,194百万円には、内部取引消去293百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△12,487百万円が含まれています。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。